

# 令和2年度 家庭教育オピニオンリーダー研修⑥ 実施報告

実施日：令和2年11月18日（水）

新型コロナウイルス感染防止のため、「3密」回避対策や受付時の健康チェック及び検温、パーティションの設置等を行い、実施しました。

## ○ 演習「家庭教育支援事業の企画」

総合教育センター生涯学習部職員

前回に引き続き、グループに分かれて自分たちのできる家庭教育の支援事業を企画し、午後の発表に向けた発表原稿を作成しました。

発表原稿を作成するにあたっては、グループごとに家庭教育の「現状と課題」から実施したい事業の「事業名（タイトル）」→「事業目的」→「事業内容」→「（事業の）アピールポイント」という流れ『トップダウン』で考えました。そして、内容がそれぞれの項目と合致しているかどうか、関連し合っているかどうかを「（事業の）アピールポイント」→「事業内容」→「事業目的」→「事業名（タイトル）」→「現状と課題」という流れ『ボトムアップ』で確認を行いました。

各グループとも時間内に発表原稿の作成を終えることができ、受講者には安堵の表情が広がりました。



## ○ 演習「家庭教育支援に向けた取組の発表」並びに閉講式

総合教育センター生涯学習部職員

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会役員や各教育事務所担当者が視聴する中、グループごとに考えた家庭教育支援事業の企画について発表しました。家庭内の様々な問題や課題から考え始めた企画、発達障害の理解を深めることを目的とした企画、人間関係や地域のつながりづくりを重視した企画など、各グループで知恵を絞り、時間をかけて協議をすることで生み出された企画は、非常に素晴らしい内容となり、今回の演習は受講者にとって家庭教育支援の企画立案について、多くの学びを得る機会となりました。

また、発表を視聴したオピニオンリーダー連合会役員からは、よく考え込まれた内容であり是非とも実現したい企画であるなどと感想がありました。

当研修を修了した受講者が、研修で得た学びや気づきを生かしながら、地域に根ざした家庭教育支援を実践し、各方面で活躍することを期待しています。どうぞ、頑張ってください！



### ☆受講者の声（アンケートから）

- ・家庭教育支援には様々な課題があることを知りました。その解決に向け、オピニオンリーダーと協力し、今回企画したプロジェクトを実現したいと思いました。
- ・受講生自身が企画を考えることで、新しい気づきや達成感などを得ることができました。
- ・研修を重ねることで、自分が主体となり活動することを意識するようになりました。
- ・研修を通して、地域とのつながりや子育ての大切さを強く感じるようになりました。
- ・オピニオンリーダーの存在と活動の場を多くの人に知ってもらいたいと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp